



『ピースプロジェクト』活動報告書

NPO 法人『ピースプロジェクト』
代表理事 加藤勉

この報告書は 2011 年の東日本大震災以降、『ピースプロジェクト』としての活動を記しています。

活動開始は 2011 年 3 月 13 日認定 NPO 法人『難民を助ける会』の一員として物資配布、障害者施設の安否確認作業からスタートしました。

『ピースプロジェクト』としての活動は 3 月 31 日から、スタッフ、道具がないなかでの活動で最初は外部団体の援助を受けながらの活動開始でした。

NPO 法人となったのは 2011 年 10 月です。それ以前は任意団体としての活動となります。

それらの具体的な活動内容が次頁から記載されています。

本活動報告書は 2016 年 1 月から 2016 年 12 月 31 日までの活動記録です。

皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いします。

【『ピースプロジェクト』活動報告書】

2016 年 1 月 9 日（土）

二本松市の旧平石小仮設住宅で、恒例の新春餅つき大会を行いました！

場所：福島県二本松の旧平石小仮設住宅

協力：認定 NPO 法人 AAR ジャパン（『難民を助ける会』）

提供内容：餅つき（雑煮、あんこ餅、きなこ餅、焼きそば、ビンゴゲーム）

（受益者：50 人）

時折小雪がちらつく 1 月 9 日、二本松市の旧平石小仮設住宅で恒例の新年餅つき大会を行いました。ここの仮設には、浪江町で暮らしていた方々が 50 人ほど生活しています。

昨年のような井の炊き出し、焼きサンマ・芋煮会に続いての 3 回目の訪問とあって、顔見知りも増えました。朝から雑煮などを準備してくれていたお母さん方、へっぴり腰の私たちに餅のつき方をみっちり指導してくださったお父さん方と一緒に和気あいあい。つきたてのお餅はもちろん、千葉の成田山から届いたというお芋も絶品。食後のビンゴゲームでは餅つき以上に大盛り上がりで、楽しいひと時を過ごしました。浪江町への帰還はまだ先ということもあり、抽選ではあるものの復興住宅への入居を決める方も増えています。仮設で暮らす方の数も日に日に減っていくとは思いますが、また遊びにきたいと思います。帰り際、お母さん達が手作りのティッシュケースをひとり一人にお土産として渡してくれました。とても名残惜しい別れとなりました。



2016年2月7日（日）

福島県飯館村主催『いいたてふれあい集会 2016』に参加しました。

場所：福島市『福島県文化センター』

（受益者数：1,500人）

今年も飯館村主催の「いいたて村民ふれあい集会」に参加しました！

お手伝いも今年で4回目。担当した「こども再会ひろば」には、見覚えのあるこどもたちもたくさん遊びに来てくれました。

いまだ全村避難が続く飯館村の村民のみなさんの年に1度の再会の場ですが、私たちにとっても子どもたちとの再会の場になっています。

ふわふわ遊具では、こどもたちのあまりの元気さにぼくらスタッフも汗だくになって駆け回りました。また一緒に遊ぶ日を楽しみにしています！



2016年3月21日（月祝）

福島県福島市の『しんぐるまざあずふおらむ』を訪問しました（オルト・ディ・ソーニ久村さんご夫妻と同行）。

福島県内のシングルマザーが抱える悩みや具体的な不具合を聞き取り調査し、子どもたちが国内外への保養プログラムに参加させることが出来るための道筋を確認しました。

DVによる避難や離婚、独立に向けてのシェルター的な役割を果たす施設なので、看板も出せず一切表面に出せないなど多くの苦悩を抱えた施設ですが、大きな役割を担っておられる姿に感謝せずにはおられませんでした。

具体的に母子家庭からサマーステイに参加させることが出来るかどうかについては、経済負担をなくすとしても、母親の不安や、パスポート、渡航書類の作成に費やす時間が取りにくいという判断から今年は見送りとなりました。（受益者数：0人）



2016年3月21日（月祝）

福島県南相馬市の『NPO 法人南相馬こどものつばさ』を訪問しました（オルト・ディ・ソーニ久村さんご夫妻と同行）。

オルト・ディ・ソーニが主催するサマーステイに本来支援したい子どもたち（金銭的に恵まれない子どもたち）をどうしたら呼べるかを、現地のNPOである『こどものつばさ』代表の西さんと相談する目的で訪問しました。

結果的に個人情報の問題もあり、学校単位で探してもらうことは困難であることが判明、地元で“枠”を設定して『こどものつばさ』で探してもらうようにする等の特別措置が必要であると理解しました。（受益者数：0人）



2016年3月26日（土）、27日（日）

『TOKYO OUTSIDE FESTIVAL2014』に参加しました。

場所：東京都新宿中央公園

快適生活研究家田中ケン氏率いる『ダディーズ・オピニオン』主催のアウトドアイベントに参加して『ピースプロジェクト』の活動紹介並びに協力各社からご提供いただいた物品（T シャツ等）を販売し活動資金に充てました。2 日間の売上げ金、募金の総額は165,515 円になりました。総額を活動資金に充てさせていただきます。



2016年4月15日（金）～5月3日（日）

熊本地震における緊急支援活動を展開いたしました。

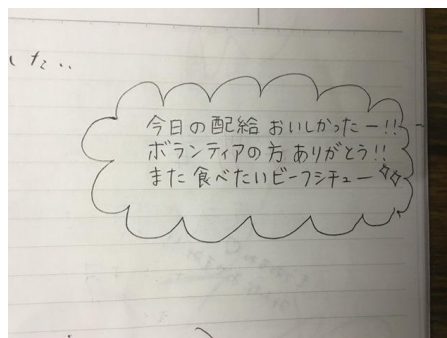
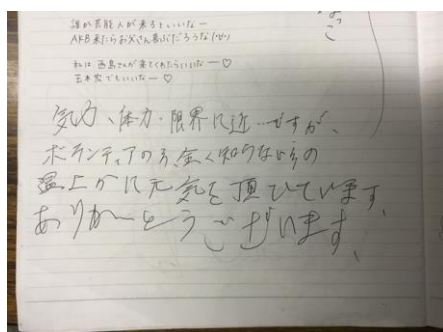
場所：熊本県益城町周辺、熊本県阿蘇町周辺

協力：認定NPO法人AAR ジャパン、福岡勤労者登山組合

※詳細は別紙にてご確認ください。

延べ出動回数 34回

受益者総数 14,420人



2016年5月5日（木祝）

『子ども祭り 2016』を開催しました。

場所：福島県南相馬市『高見公園』

時間：午前10時～午後3時

主催：『ピースプロジェクト』、

後援：南相馬市教育委員会、協力：NPO 法人南相馬こどものつばさ、認定 NPO 法人 AAR
ジャパン、サンエックス株式会社、マルキ子ども基金、海老名の有志

提供内容：ミヤマ☆仮面の昆虫ショー、ふわふわ遊具、キックボクシング体験、リラックマが当たるビンゴゲーム、トランポリン、スーパーボールすくい、ミニボウリング、スラックライン、焼きそば、玉こんにゃく

（受益者数：1,200人）

今年も昨年に引き続き、南相馬市高見公園で『子ども祭り 2016』を開催することになりました。公園の広さ、交通の便、除染の手配どれを取ってもベストな場所だと考えています。

今年は海老名のサポート仲間から鯉のぼり 155 本の提供を受け、全部を掲揚すべく 5 月 3 日から数名で現地に入って作業を行いました。あいにくの雨天等で全部を掲揚することは出来ませんでしたが、たくさんの鯉のぼりが公園を泳ぐ様は圧巻だったと思います。また“悪性リンパ腫”と闘病しているミヤマ☆仮面が復活登場してくれて、子どもたちに『昆虫ショー』を見せてくれました。昆虫好きな子どもたちはクワガタムシのプロレス“クワレス”などに夢中になって見入っていました。

毎年協力してくれている山形からのマルキ子ども基金（ミニボウリング、玉こんにゃく）やキックボクシングの寺戸伸近選手、石川直生選手など、子どもたちにキックボクシングの体験をさせてくれたり、盛りだくさんな内容となりました。どのアトラクションも最後の時間まで行列が絶えることがありませんでした。





2016年5月21日(土)

熊本県上益城郡益城町『広安西小学校』での炊き出し活動

メニュー：ビーフステーキ、クリームトマトスープ各 400 食

今回炊き出しを行わせていただいた広安西小学校はすでに学校として再開しているものの現在も多くの方が体育館で避難生活をされています。また、周辺に住んでいる方々も家で料理をすることが難しい状況です。現在も様々な団体が炊き出し活動を行っているものの三食お弁当になってしまう日があるのが現実です。

そこで(有)ダディーズオピニオン、オージービーフ、キャンベルスープの協力のもと、ビーフステーキとクリームトマトスープを各 400 食提供させていただきました。

「生まれて初めてステーキを食べる」という子どもや「こんなにおいしいステーキを食べるのは初めて」という方もいらっしゃり、とても喜んでいただきました。

協力：(有)ダディーズオピニオン、オージービーフ、キャンベルスープ

受益者数：400 人



2016 年 5 月 22 日(日)

熊本県上益城郡益城町の避難所『エミナース』での炊き出し活動

メニュー：ビーフステーキ、クリームトマトスープ各 400 食

この日は前日に続き、益城町から要請を受け避難所になっているホテル『エミナース』にてビーフステーキ、クリームトマトスープを各 400 食提供させていただきました。またこの炊き出しに東北盛岡の株式会社公楽のメンバー3 人も駆け付けてくれました。

熊本県上益城郡益城町『エミナース』での炊き出し活動

協力：(有)ダディーズオピニオン、オージービーフ、キャンベルスープ

受益者数：400 人



2016年6月2日（火）

夏休みの『軽井沢キャンプ』を行うための説明会に参加しました。NPO 法人南相馬こどものつばさが主催して、全21プログラムを募集して行う説明会です。

今年も応募希望の皆さんは会場に入りきれないほど多数お越しいただき、とても熱気あふれる説明会となりました。

また一昨年、昨年のキャンプに参加してくれた子どもたちが『ピースプロジェクト』のブースに挨拶に来てくれて、とても懐かしく嬉しい説明会になりました。

場所：南相馬市鹿島区万葉ふれあいセンター

時間：午後7時～

（受益者数：500人）

今年もたくさん子どもたち、ご両親が『ピースプロジェクト』のキャンプにご興味を持ってチラシを受け取ってくれ、キャンプに対する期待の大きさを実感することが出来ました。

会場に向かう途中、常磐自動車道で最も線量の高い地域を通ります。2年前は6.4マイクロシーベルトでしたが、今は4.1マイクロシーベルトに下がっていました。



2016 年 6 月 27 日（月）

熊本県益城町、飯野小学校で『谷川真理ランニング教室』を開催しました。

2 部に分かれて全校生徒（74 名）が谷川真理さんの指導のもと、たどしいランニング方法をおしえてもらいました。

児童の中には「マラソンに興味が出てきた、将来マラソンにチャレンジしてみたい」という子どももいて、気持ちのいい汗をかくことが出来ました。

場所：南相馬市鹿島区万葉ふれあいセンター

時間：午後 1 時～

（受益者数：74 人）



2016 年 6 月 28 日（火）

熊本県益城町、広安西小学校で『谷川真理ランニング教室』を開催しました。

この小学校は地域最大の小学校（全校児童 720 名）です。今回は午前、午後 2 部に分かれて高学年が谷川真理さんの指導のもと、ランニング方法をおしえてもらいました。

ランニング教室の後にはスイカが出されて、みんな美味しそうにほお張っていました。給食も生徒と一緒に美味しくいただきました（お弁当でした）。

この日は歌手のナオトインティライミさんも来校され、イベント盛りだくさんの一日でした。

場所：熊本県益城町、広安西小学校

時間：午前 11 時～

（受益者数：250 人）



2016年7月30日（土）

『ピースプロジェクト』恒例『土用のうなぎ炊き出し』を実施しました。
昨年までは東日本大震災地域での『うなぎ炊き出し』でしたが、今年は熊本地震のあった益城町総合体育館で実施しました。

総合体育館にはまだ800人の避難者がいて、強硬なスケジュール、そして猛烈な暑さでしたが、東京からのスタッフ参加、現地熊本からのボランティア、福岡、宮崎からのボランティア多数のおかげで無事トラブルもなく820食の炊き出しを終えることが出来ました。「数週間前から楽しみにしていたよ」という声や、終わってから「美味しかったよ〜、これで夏も乗り切れるよ!!」という声をかけていただき、スタッフ一同感謝しかありません。

場所：熊本県益城町、総合体育館
(受益者：820人)



2016年8月2日（火）～4日（木）

『ピースプロジェクトサマーキャンプ 2016』を実施しました。

これは福島県南相馬市の子どもたちを涼しい北軽井沢で2泊3日過ごす保養を目的としたキャンプです。

詳細は昨年までと同様なので割愛します。

【活動内容】「出来る限り自分のことは自分でする」というコンセプトで、テントを張り、川遊び、魚釣り、スイカ割り、花火、虫獲り、フィールドアスレチックなどをして思いっきり遊びました。

場所：アウトサイドベース、群馬県北軽井沢町、

協力：有限会社ダディーズ・オピニオン、NPO 法人南相馬こどものつばさ

後援：南相馬市教育委員会

（受益者：19人）



2016年8月13日（土）

真夏の避難所で炊き出しを行いました。今回はプロレスゼロワンの選手数名にお手伝いに参加してもらいました。非難されいる方々も普段見たことのない大きな身体に触って驚かれています。

避難所から仮設住宅に移る間際、そしてお盆のさなかということもあり、人数的には少ない炊き出しでした。ゼロワンからはショーグンオカモト選手、小幡優作選手はじめ 5名参加していただきました。ショーグンオカモト選手は熊本県南阿蘇出身でご実家も被災されています。でも全選手、温かい笑顔で被災者の皆さんに触れ合っていました。

「野菜が食べられなかったのが嬉しい」、「とても美味しかった!!」とたくさんの方に喜んでいただきました。

場所：熊本県益城町、総合体育館

メニュー：お煮しめ（野菜煮つけ）、ご飯。

（受益者：300人）



2016年7月26日（日）～8月22日（土）

イタリアのサマーステイ『オルト・ディ・ソーニ 2015』の参加者がイタリア、サルディーニャ島での4週間キャンプを経験しました。

輝く太陽、美味しい空気、きれいな海に囲まれた健康的な環境で、畑仕事、乗馬体験、海水浴、サッカー、食事作りなどたくさんの経験を積んで、真っ黒になって帰ってきました。

主催：オルト・ディ・ソーニ（イタリア）

場所：成田空港第一ターミナル

後援：南相馬市、南相馬市教育委員会

（受益者数：16人）



2016年9月3日（土）、4日（日）

『台風10号岩手県岩泉町洪水被害』の支援活動を行いました。

3日の朝に東京を出発、仙台で活動用のピーストラックをピックアップし、岩泉町を目指しました。

岩泉町に入れる道が一本しかなく、分かりづらいこともあり、仙台から現地まで9時間かかりましたが、何とか無事に現地に入り、4日朝から活動を行う事が出来ました。

ピースにメンバーは3人でしたが、現地でボランティアの方にお手伝いしていただき、都合1,000食のカレーライスを提供する事が出来ました。

「洪水以来温かい食べ物は初めて食べた」という声もあり、やはり炊き出しの大切さを実感しました。

活動場所：岩手県岩泉町全域

協力：認定NPO法人AARジャパン

（受益者数：1000人）



2016 年 9 月 10 日（土）、11 日（日）

先週に引き続き『台風 10 号岩手県岩泉町洪水被害』の支援活動を行いました。
現地のボランティアにお手伝いいただき、けんちん汁を提供させていただきました。
また、サンエックス株式会社さまにご提供いただいたリラックマグッズをこどもたちに
プレゼントしました。

活動場所：岩手県岩泉町全域

（受益者数：500 人）



2016 年 10 月 23 日（日）

福島県南相馬市で『富良野の美味しい野菜を食べよう』イベントに参加しました。このイベントは北海道富良野の皆さんが被災地のために現地で採れた野菜2トン（玉ねぎ、じゃがいも、ニンジン）を提供するために開催されています。『ピースプロジェクト』は今年から側面サポートという形で参加することになりました。

当日は快晴で300袋用意した野菜セット（じゃがいも、人参、玉ねぎなど）もあっという間になくなるほど大盛況。富良野の野菜をつかった「かき揚げうどん」も大好評でした。この日は七五三のお祝いに来た子どももたくさんいました。

場所：：南相馬鹿島区男山八幡神社

協力：北海道富良野の有志一同

提供内容：子ども広場において、トランポリン、スーパーボールすくい、ビンゴゲーム
（受益者：300人）

2016 年 11 月 1 日（火）

『ピースプロジェクト』本部で『ネパールの貧困女性を救うプロジェクト』のセミナーを開催しました。

このプロジェクトは障害者や貧困により生活が困難な女性を救うために、自らが障害者であるアンジャナさん、スシラさんが自立するために必要な心構え等を話し、日本の中で情報発信していくものです。

場所：：東京都千代田区、『ピースプロジェクト』本部

（受益者：23人）



2016 年 11 月 27 日（火）

熊本県益城町、飯野小学校から「復興イベントやるから協力して欲しい」とのお声がかかり、地震発生時のメンバーで当時と同じようにカレーライスの炊き出しを行いました。谷川真理さんも主旨にご賛同いただき、ランニング教室を開催することが出来ました。地震から半年過ぎたところですが、まだまだ街中に倒壊家屋が数多くみられ、復旧復興の道のりが遠いことを伺わせました。

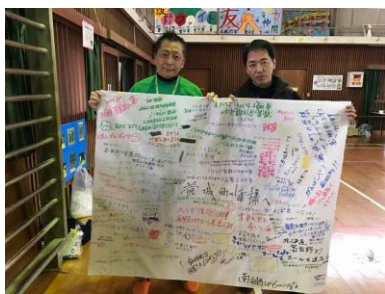
先日の南相馬市で受け取った応援のバナーをお渡ししました。

イベントの最後に、地元の方々から震災当時駆けつけた『ピースプロジェクト』、滋賀県庁のスタッフにお礼のメッセージをいただきました。

場所：熊本県益城町、飯野小学校

メニュー：カレーライス、豚汁

（受益者：200 人）



2016 年の活動総数 56 回、益者総数 21,972 人

2016 年末までの活動総数 176 回、益者総数 69,740 人